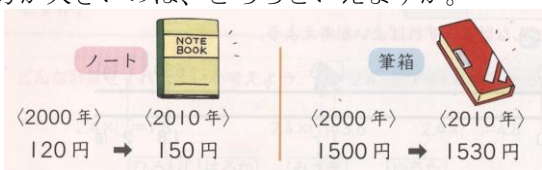
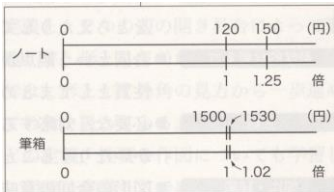


月日 (校時)	単元名	教材名
7月3日 (月) 5校時	小数のわり算	小数のわり算を考えよう
本時のねらい 本時 (11/14) ○差による比較の他に、倍を使っても比較できることを理解する。		
評価規準 知 目的に応じて倍を使って比較する場合があることを理解している。(発言・ノート)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【導入】</b> 13:45	○前の時間のまとめ・振り返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習の振り返りをさせる。
<b>【展開】</b> 問題提示 13:47	1 問題を読む。 あるノートと筆箱の、2000年のねだんと2010年のねだんは、それぞれ下のようになっています。2000年から2010年にかけて、ねだんの上がり方が大きいのは、どちらといえますか。 	・差で比較した発言も取り上げ、どちらのほうが高くなっているのか考えさせる。 ・倍に着目した発言を取り上げ、倍で表すと違いが出てきそうなことを確認する。 ・倍を使って考える方法をおさえ、解決への見通しをもたせる。
・問いの共有  課題把握 13:50 ・シラバス ・言語わざ ・キーワード 13:52	○気づいたことや今までの学習から解き方の見通しを立てましょう。 ・ノートも筆箱も値上がりした額は30円だ。 ・ねだんの上がり方とは、何倍になったかだと思う。 ・もとのねだんが違うから、上がり具合は違うと思う。 ・どうやって比べたらいいかな。  2 課題を把握する。 もとにするねだんが違う場合のねだんの上がり方を比べる方法を考え、式や数直線、言葉を使って説明しよう。 (一人学び(6分)・班学び(7分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(3分)) 「理由をつけて説明する。」 (倍、上がり具合、わり算、わる数、わられる数、もとにする量、比べる量)	
解決活動 ・1人学び ・班学び	3 ねだんの上がり方を比べる方法を考える。 ○ねだんの上がり方を、倍を使って比べる方法を考えましょう。 ・2000年のねだんを基にして2010年のねだんが何倍になっているか考えればよい。 	・数直線を用いて考えさせる。 ・自力解決が難しい児童には、2000年のねだんを1とみると2010年のねだんがいくつ分になるのか考えさせる。
集団解決 ・学び合い 14:05 ・考察 14:15 まとめ 14:20	4 考えたことを説明する。 ・2000年のねだんを基にすると、 ノート… $150 \div 120 = 1.25$ 筆箱… $1530 \div 1500 = 1.02$ になる。 ・差は同じだったけど、倍を使うとねだんの上がり方の違いが見える。 ・基にするねだんを1とみれば少数倍で比べられる。 もとにするねだんが違う場合も、倍をつかってねだんの上がり方を比べることができる。	・視覚的にイメージさせるため、数直線を用いて説明させる。
<b>【終末】</b> 振り返り 14:23	5 学習したことを振り返る。	知 目的に応じて倍を使って比較する場合があることを理解している。(発言・ノート)